



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社 エルアイイーエイチ
 コード番号 5856 URL <https://lieh.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 福村 康廣
 (氏名) 田中 斉
 TEL 03-6458-6913

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,779	1.0	190		175		402	
2019年3月期第3四半期	11,662	1.9	127	39.8	138	31.2	405	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 580百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 708百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	4.63	
2019年3月期第3四半期	4.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	6,070	3,432	56.5	39.45
2019年3月期	6,967	4,099	58.8	47.12

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,432百万円 2019年3月期 4,099百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		1.00		1.00	2.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,347	2.2	142		129		339		3.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	87,000,000 株	2019年3月期	87,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	8,097 株	2019年3月期	8,016 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	86,991,980 株	2019年3月期3Q	86,992,027 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、生産や輸出に足踏み感はあるものの、政府の経済政策により企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続き、景気は緩やかな回復基調にて推移いたしました。米中貿易摩擦をはじめとする通商問題と中国の経済成長鈍化、英国のEU離脱問題の影響など、海外経済動向の不確実性の高まりや消費税増税による国内の消費マインド低下などから、先行き不透明な状況となりました。

このような状況の中、当社におきましては、成長性と安定性を重視した事業ポートフォリオの構築を念頭に、注力する得意分野においてマーケティング力を強化して優位性ある商品開発と新サービスの提供等を行えるよう継続的に取り組んで参りました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高11,779百万円（前年同期比1.0%増）、営業損失190百万円（前年同期 営業利益127百万円）、経常損失175百万円（前年同期 経常利益138百万円）となりました。

また、教育関連事業において、減損損失184百万円を特別損失に計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純損失は402百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失405百万円）となりました。

当社グループ企業のセグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

(食品流通事業)

当事業におきましては、前期において行った主要6店舗の改修工事によって生じた減価償却費が増加したものの、新たに実施した酒類における価格訴求キャンペーンによる新規来店顧客の獲得に成功し、また、クレジットカード決済の導入による売上増加の効果も重なり、売上、利益共に好調に推移いたしました。

その結果、売上高7,808百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益（営業利益）435百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

(酒類製造事業)

当事業におきましては、国内市場はRTDを除いて清酒、焼酎、ビール全酒目共軒並み前年割れと言われる厳しい業界環境の下、当社におきましてもその例外にはなりえなかったものの、昨年度行いました清酒類等不採算製品の整理、終売による減収の影響もここへきてようやく落ち着き、売上こそ前年同期を下回ったものの、利益は堅調に推移いたしました。

その結果、売上高1,666百万円（前年同期比10.5%減）、セグメント利益（営業利益）121百万円（前年同期比45.1%増）となりました。

(教育関連事業)

当事業におきましては、少子化によるライバル会社との競争激化、更には増加しつつある中高一貫校におけるテスト関連ニーズが、高校大学受験の双方を扱う大手テスト業者に向うと言った市場の変化もあり、総じて厳しい環境が続いており、中学校向けの教材部門におきまして、当年度は次回教科書改訂までの狭間にあることから大きく形勢を変え得る有効な戦略は打ち出し難い状態にあります。

また、高騰した商品原価の計上や新たな商品の製作コストが見込みよりもはるかに上回ったことなど及び投資額と投資期間全体を通じた回収可能額について比較検討した結果、原価性のある制作費の償却を行ったことなどが影響し、売上、利益共に前年を下回りました。

その結果、売上高1,410百万円（前年同期比15.2%減）、セグメント損失（営業損失）468百万円（前年同期 セグメント損失（営業損失）4百万円）となりました。

人件費の抑制や、これまで外注に出していた業務の一部を内製化にシフトすることでコストの削減につながってきており、引き続き収益構造の改善に努めてまいります。

(リフォーム関連事業)

当事業におきましては、リフォーム市場の回復と消費税増税を意識した活発な駆け込み需要が重なり、選別を行うに十分な時間的余裕もないまま対応能力一杯の受注状況となるに至りました。

その結果、売上高513百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益（営業利益）2百万円（前年同期比83.0%減）となりました。

(その他)

当事業におきましては、その他教育関連事業等を行っており、売上高380百万円（前年同期比3.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）25百万円（前年同期比154.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ897百万円減少いたしました。

これは主として、現金及び預金について270百万円、商品及び製品について135百万円、仕掛品について333百万円、投資有価証券について256百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,638百万円となり、前連結会計年度末に比べ229百万円減少いたしました。

これは主として、支払手形及び買掛金について107百万円、長期借入金について149百万円、繰延税金負債について62百万円それぞれ減少したこと及び負ののれんが71百万円増加したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,432百万円となり、前連結会計年度末に比べ667百万円減少いたしました。

これは主として、資本剰余金を原資とする配当実施で86百万円、その他有価証券評価差額金が177百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失で402百万円それぞれ減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月13日に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的风险や不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により上記の業績予想とは異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,009,724	1,738,847
預け金	822	822
受取手形及び売掛金	921,800	1,251,138
有価証券	1,054	954
商品及び製品	1,149,106	1,013,275
仕掛品	422,959	89,769
原材料及び貯蔵品	130,735	128,319
未収入金	51,331	48,104
その他	116,943	61,279
貸倒引当金	△162	△162
流動資産合計	4,804,315	4,332,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	334,784	312,967
その他(純額)	383,607	311,049
有形固定資産合計	718,391	624,017
無形固定資産		
無形固定資産	32,555	10,593
投資その他の資産		
投資有価証券	970,860	713,919
敷金	210,060	203,867
出資金及び保証金	178,179	174,169
長期貸付金	2,563	2,563
破産更生債権等	19,846	19,477
繰延税金資産	24,754	14,586
その他	82,065	50,528
貸倒引当金	△76,213	△75,843
投資その他の資産合計	1,412,118	1,103,267
固定資産合計	2,163,065	1,737,879
資産合計	6,967,380	6,070,228

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,223,289	1,116,178
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
短期借入金	241,000	241,000
1年内返済予定の長期借入金	197,166	126,696
未払金	224,290	194,662
リース債務	1,809	1,439
未払法人税等	10,178	6,318
未払消費税等	26,903	71,985
未払費用	182,011	219,899
賞与引当金	23,373	1,607
返品調整引当金	6,782	1,901
その他	37,126	51,912
流動負債合計	2,213,931	2,073,602
固定負債		
社債	100,000	80,000
長期借入金	348,036	268,532
リース債務	5,382	5,379
繰延税金負債	111,580	49,480
退職給付に係る負債	32,140	32,396
資産除去債務	45,110	45,422
負ののれん	5,157	76,715
その他	6,647	6,647
固定負債合計	654,055	564,573
負債合計	2,867,986	2,638,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	100,000
資本剰余金	1,940,972	3,261,041
利益剰余金	△352,477	△262,319
自己株式	△858	△862
株主資本合計	3,587,636	3,097,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	511,757	334,194
その他の包括利益累計額合計	511,757	334,194
純資産合計	4,099,394	3,432,053
負債純資産合計	6,967,380	6,070,228

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	11,662,968	11,779,073
売上原価	8,916,310	9,572,556
売上総利益	2,746,657	2,206,517
販売費及び一般管理費	2,618,772	2,397,150
営業利益又は営業損失(△)	127,884	△190,632
営業外収益		
受取利息	122	92
受取配当金	286	299
受取賃貸料	20,115	20,760
負ののれん償却額	9,730	9,730
貸倒引当金戻入額	90	80
その他	15,356	14,842
営業外収益合計	45,700	45,804
営業外費用		
支払利息	7,037	4,664
不動産賃貸費用	18,000	18,000
その他	9,842	7,696
営業外費用合計	34,880	30,360
経常利益又は経常損失(△)	138,705	△175,188
特別利益		
固定資産売却益	1,131	—
関係会社株式売却益	35,588	—
特別利益合計	36,719	—
特別損失		
固定資産除却損	69	—
減損損失	546,473	184,606
その他	1,062	8,194
特別損失合計	547,605	192,800
税金等調整前四半期純損失(△)	△372,179	△367,989
法人税等	33,492	34,792
四半期純損失(△)	△405,672	△402,781
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△405,672	△402,781

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△405,672	△402,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△303,224	△177,563
その他の包括利益合計	△303,224	△177,563
四半期包括利益	△708,896	△580,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△708,896	△580,344

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 欠損填補

当社は、2019年6月25日開催の定時株主総会の決議により、同日付でその他資本剰余金を492,939千円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

(2) 減資

当社は、2019年12月1日付で減資いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間において、資本金が1,900,000千円減少し、資本剰余金が1,900,000千円増加いたしました。

上記の結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が100,000千円、資本剰余金が3,261,041千円、利益剰余金が△262,319千円となっております。